

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

吉部地区自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	98,106 円		助成金充当額	92,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	通報(33)、消防(46)、研修会(20) 99人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・通報訓練(7/28 本部緊急連絡網による災害時の通報連絡訓練を実施した。) ・消防訓練(10/18 吉部小学校、宇部西消防署、宇部市消防団吉部分団、吉部地区自主防災会、吉部ふれあいセンターによる合同消防訓練を実施した。) ・防災研修会(11/27 新たな避難情報の内容及び避難行動について自主防災会役員の研修会を実施した。) ・防災物品の整備(防災備蓄品を購入した。)			
事業目標	住民が自主的な防災活動を行う事により、災害(地震、土砂災害、風水害、その他)による被害の防止及び軽減を図る。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	防災通報連絡訓練、防災訓練、講演会・研修会参加率5%以上		・通報訓練年2回 ・訓練、講演会・研修会参加率5%以上	・通報訓練年1回 ・訓練、研修会参加率5%以上
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講演会が実施できなかった。ただし、通報訓練及び合同消防訓練と研修会は実施した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区住民の防災に対する意識高揚、防災物品の充実及び防災連絡網の徹底が図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 参加者が固定化してきているので、より多くの方が参加できるよう、取組内容の検討が必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区体育振興会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	204,541 円	助成金充当額	202,000 円	
事業対象者	全校区民	参加人数	草刈(19)、運動会(55)、体操(41) 115人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・草刈り作業(8/7 競技大会会場周辺の草刈作業を夢夢クラブと合同で実施) ・競技用具等の点検及び購入(運動会用具の点検及び球技大会用の運動用具を購入) ・地区運動会(10/3 吉部小学校と地区住民との合同運動会を実施) ・みんなで元気にラジオ体操(10/24 宇部市市制100周年記念事業にあわせて実施)			
事業目標	広く体育活動を通じて地区住民の健康意識の高揚と体力の向上を図るとともに、相互の親睦を図り明るく住みよい郷土を築く。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	参加率 球技大会15%以上 運動会25%人以上	球技大会15%以上 運動会25%人以上	球技大会2% 運動会7%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、球技大会は中止し、草刈り作業のみ実施した。ただし、地区運動会は規模を縮小して吉部小学校と合同で行った。また、みんなで元気にラジオ体操を行い、多くの地区住民が参加した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 規模を縮小したが、地域の健康増進や親睦と、体育の振興に一定の効果があつた。また、今後の競技会開催に当たって、不足している運動用具を購入した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 高齢者や子ども達が気軽に参加できる競技種目の検討が必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

		事業実施団体	吉部小学校運営協議会 楠中学校運営協議会	
事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	39,457 円	助成金充当額	38,000 円	
事業対象者	地区小中学校児童・生徒・地区民	参加人数	355人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地域クリーン作戦を年3回実施 ・吉部っ子祭りを地域住民の参加のもと実施 ・防災教室の開催 ・学校だよりを毎月地区に全戸配布 ・地区民との合同運動会の開催 ・生徒会We Love KUSUNOKIプロジェクト ・授業で製作した赤間硯の展示 ・メディアリテラシー親子熟議			
事業目標	地域人材を活用して学校を支援し、子どもたちの健全育成を図る。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	地域行事へのボランティア活動参加	220人	120人	
	コミュニティスクールとしての支援	250人	235人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍により活動が縮小されたが、感染症対策等の工夫により事業を可能な限り実施した。			
事業効果	地域における学校に対する支援意識・態勢は高く、また、支援のための良好な関係づくりが進んだ。地域貢献に対する士気高揚に向けたのぼり旗が昨年度に作成されたが、それを元にしてあらゆる機会に学校の情報を発信することができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 本年のようなコロナ禍のなかでの事業推進の検討や地域住民の高齢化に伴う学校支援ボランティアの在り方など。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

楠地区社会福祉協議会

事業名	4	敬老事業			
事業期間	令和３年４月～令和４年３月				
決算額	1,047,890 円		助成金充当額	899080円 吉部地区分担金 186200円	
事業対象者	楠地区内 7 1 歳以上の高齢者		参加人数	本年度なし	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 楠地区社会福祉協議会主催の３地区（船木、万倉、吉部）合同敬老会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり記念品等を自宅にお持ちし近況などの話をした。				
事業目標	過疎高齢地域への支援 ・独居老人が集える機会をつくる				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	対象者数のうち 2 0 % の参加		対象者数のうち 2 0 % の参加	本年度なし	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため合同敬老会等の活動が制限された。。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 高齢者を敬い元気づける事ができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 福祉委員と協力し来年度以降は積極的な出席を呼び掛けが必要がある。				
自己評価 (３段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部市交通安全協会楠分会

事業名	5	交通安全推進事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	47,362円		助成金充当額	29,500円 吉部地区分担分 10,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	750人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施 ・安全指導、啓発活動、交通立哨等 ・のぼり旗、横断幕の設置			
事業目標	春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	日常的な安全運転への意識が向上すること		啓発活動・交通立哨	啓発活動・交通立哨
	(達成できた、又は、できなかった要因) 交通安全運動期間中等、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、のぼり旗等のこまめな掲揚や交通立哨をした。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 安全指導、啓発活動、交通立哨等をとおして、住民の交通安全、交通道德の意識の高揚を図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 交通安全、交通道德の意識の高揚や交通事故抑止のため継続的の実施すべき事業である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

吉部地区まちづくりサークル

事業名	6	地区活性化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年 3 月			
決算額	88,311 円		助成金充当額	60,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	延99人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・健康づくり講座の開催（1回） 14人 ・防災講座の開催（1回） 14人 ・花壇の整備（5回） 延71人			
事業目標	地域づくりに関する学習を通して、地域で主体的に行動する市民を育成し、心豊かな地域づくりを進める。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	講座の開催回数10回		開催回数10回	開催回数 7 回
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で高齢者の会員が多いことから室内での開催は限られ、屋外中心の活動となった。			
事業効果	会員の体力アップや防災知識の向上が図られ、会員各自の会話を通じての心のケアが図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・会員が固定化しているため、新規加入者の増加が不可欠である。 ・高齢化が進行する中、家庭への引きこもりを防ぐため、気軽にサークル参加できる雰囲気づくりを醸成したい。。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 夢ゆめクラブ吉部の郷

事業名	7	地区活性化事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年 3 月				
決算額	61,619 円		助成金充当額	50,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 吉部小学校全児童による「ふるさとの夢」絵画展の実施 ・ 大棚トンネル桜並木、下市夢ガーデンの整備				
事業目標	人が集まる吉部の郷づくり				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	500		500人	延約700人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 各種イベント開催準備の為、大棚トンネル、桜並木遊歩道の整備を図りる。また、本年度は、下市の”夢ガーデン”の清掃・整備に注力したい。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 本件事業の開催により、吉部地区外の人の流れを呼び込み、地域の活性化が図れた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 会員の減少と高齢化により、円滑な活動が厳しくなっており、新規会員の募集が急務である。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 宇部市環境衛生連合会 吉部支部

事業名	8	環境衛生事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	67,353円		助成金充当額	40,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	242人	
事業内容	（どのような事業を、どのように行ったか） ・地区内清掃活動（空き缶等回収作業、旧軌道敷遊歩道の草刈り清掃作業） ・不法投棄の抑制活動（啓発看板の設置） ・ゴミの分別回収促進（看板設置） ・ポイ捨て禁止啓発活動				
事業目標					
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回		空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回	空き缶等回収作業2回 地域清掃活動3回	
	数値目標は達成した。				
事業効果	（事業の実施により、どのような効果が得られたか） 清掃活動に参加することで、住民の環境衛生意識の高揚が図られる。				
今後の課題等	（事業の必要性、継続していくための課題や改善点など） 不法投棄が減少しておらず、啓発活動や看板の設置など進めたい。				
自己評価 （3段階評価） 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 吉部地区生涯学習推進協議会

事業名	9	生涯学習推進事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	136,360 円		助成金充当額	136,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	会議26人 清掃44人 計70人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・機関紙の発行 ・ガイドマップ改定、看板設置			
事業目標	地区民各自が、より豊かでいきがいもある生活を送るため、誰もが生涯にわたり、自発的、主体的に取り組む学習社会を形成する。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	文化展の参加団体数10 個人5		団体数10 個人5 ガイドマップ改訂	ガイドマップ改訂版発行 看板設置(2か所)
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナの影響で文化展は中止になった。 ガイドマップはデザインを一新し、内容についても現状に合ったものに変更した。また、吉部小児童に協力してもらい掲載箇所の清掃を行った。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 生涯学習を通じ誰もが生涯にわたり、自発的かつ主体的に取り組む学習社会が形成できる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ガイドマップ掲載箇所の維持、管理。清掃活動が必須となる。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

吉部地区ふれあい運動推進委員会

事業名	10	見守り活動事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	30,160 円		助成金充当額	30,000 円	
事業対象者	地区の青少年		参加人数	37 延人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・街頭補導活動 ・啓発活動				
事業目標	青少年の健全育成を基調とする「ふれあい運動」を推進する。				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	交通立哨4回 街頭補導活動2回		交通立哨4回 街頭補導活動2回	交通立哨4回 街頭補導活動0回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 立哨は年度計画どおり実施できたが、街頭補導はコロナの影響で行事が中止になり実施できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 青少年の健全育成が図られた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 特になし。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

吉部地区コミュニティ推進協
議会

事業名	11	広報事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	59,960 円		助成金充当額	50,600 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	発行月 5月・7月・9月 11月・1月・3月	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・吉部全地区民に対する、“かわら版”の作成配付（年6回 奇数月）				
事業目標	機関紙を定期的に発行し、地区での活動状況などホットな情報を提供する。				
	数値目標		令和2年目標	令和2年実績	
	配付回数年6回		配付回数年6回	配付回数年6回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 編集委員の積極的な協力もあり、全地区民は、毎回の発行を楽しみにしている。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域での活動状況や行政からの連絡など、生活に必要な情報提供ができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・タイムリーな情報提供と見やすい紙面の構築が必要である。 ・費用が捻出可能であれば、カラー版の発行も検討したい。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③